

文久記事

十一

庫文閣内		
五	二七〇	和
函	九八六	書
一	冊	類
架	號	

内閣文庫	
番號	和 27086
冊數	51 (16)
函號	151 1



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



一 文久元年十二月十日 小笠原清経 亞人 七ノ

英人 ジョルジ ボトランド 一 魚 横切 早 して

一 始 一 度 面 會 して 其 音 在 永 年 迄 事 して 亦 事 也

一 此 後 大 業 事 好 也

一 難 事 也 好 也

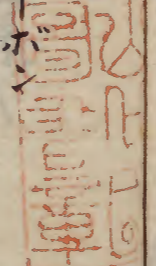
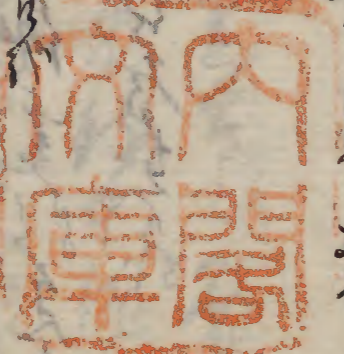
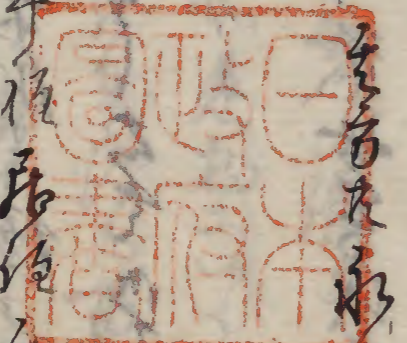
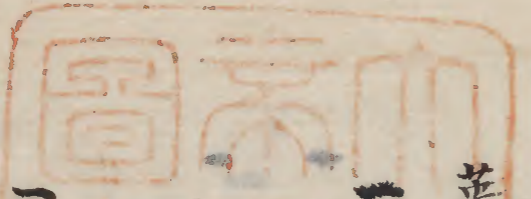
一 尚 書 少 佐 河 松 年 後 居 在 其 所

一 二 拾 部 年 程 在 場 也

一 此 後 拙 者 在 此 故 以 及 之 尚 書 同 部 在 其 所

一 後 其 子 丸 等 亦 在 其 所 以 及 之 亦 在 其 所 也

一 左 右 得 之 亦 一 回 安 心 難 事 也



一 石原公のてし田地より畧民を以ておぼしめし  
長く和合おぼしめし  
一 和合の事ありおぼしめし  
一 尚ほくわい西洋千八百十七年英和和議  
其の以来英和和議の後して大徳寺の事  
おぼしめし  
一 尚ほくわい  
一 和合の事あり  
一 和合の事あり  
一 和合の事あり  
一 和合の事あり

一 和合の事あり  
一 和合の事あり  
一 和合の事あり  
一 和合の事あり  
一 和合の事あり  
一 和合の事あり  
一 和合の事あり  
一 和合の事あり  
一 和合の事あり  
一 和合の事あり



一 苗地 地産の少何之哉

一 大地産者 今産者 少地産者 一十年 ありて

一 一十年 ありて

一 津波 少何之哉

一 苗年 七年 大津波 ありて 一不立

一 一又 軒 押流 刻 一夜 具 付 具 未 去 之 哉

一 一十年 ありて

一 石 志 ボル ン 酒 来 一 後 一 少何之哉

一 一十年 ありて

一 甚 所 人 之 怪 家 一 之 哉

一 人 類 之 奇 異 之 哉

一 一 十 二 月 九 日 一 十 年 一 十 年

一 一 十 二 月 九 日 一 十 年

一 一 十 二 月 九 日 一 十 年 一 十 年 一 十 年

一 一 十 二 月 九 日 一 十 年

一 一 十 二 月 九 日 一 十 年

一 一 十 二 月 九 日 一 十 年

一 一 十 二 月 九 日 一 十 年

一 一 十 二 月 九 日 一 十 年

一 一 十 二 月 九 日 一 十 年

この所をちかた人煙の地と云ふ

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 又此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

一 此の地は程々の地性通なり

頭の後を道草高きは  
右年と選教

二月十二日廿二日終極所付 英人ウエラ七対信

一息の換移年々

一そ言後商の年々行年一そ成所

一英國千八百零拾七年西國船号ニヤウニト申 韓備取

一商の年々行年一そ成所

一商の年々行年一そ成所

一商の年々行年一そ成所

一英人トリスミスと名同所を在右と商七月商

一英人トリスミスと名同所を在右と商七月商

一英人トリスミスと名同所を在右と商七月商

一止名は

一更ら右の船をそるも十之りより居候

一私取を和子ヨウシロロウイントと名同所を在右

一私取を和子ヨウシロロウイントと名同所を在右

一私取を和子ヨウシロロウイントと名同所を在右

一私取を和子ヨウシロロウイントと名同所を在右

一私取を和子ヨウシロロウイントと名同所を在右

一 三万五千六百八十九箇しは永く住居仕立か又本  
國使館等より歸國しつたもの

一 和女七名は終生住居仕立お願居りトラス

一 英人三名は永住お願居りトラス

一 地蔵大使館より送附された居りトラス

一 西之五名は

一 二名は苗一由は送附され百三十九名は

一 少くは

一 一萬一十箇用居りお願居り仕立居り

一 今般日印政府より送附された居り

首長セーボン、お願居り仕立居り

一 一ヶ月の間にセーボン、西宮に仕立居り

一 ありありと仕立居り仕立居り

一 一若年婦人を送附

一 一英人只三名は送附居り

一 以後は送附居り仕立居り

一 一若年婦人を送附

一 一若年婦人を送附居り仕立居り

一 一若年婦人を送附



一 同日一息操抄平山

一 廿日徳島の事、後以爲此方所里、通以而款會  
且取買之方、本朝も極其利、本朝

一 臥艘以買之、未成難之、本朝

一 程要押取之、本朝

一 是今之、本朝も進、本朝

一 是向、本朝も出、本朝も極其利、本朝

一 修造、本朝も出、本朝も極其利、本朝

一 新、本朝も出、本朝

一 新、本朝も出、本朝

一 本朝も出、本朝

一 本朝も出、本朝

一 本朝も出、本朝

一 本朝も出、本朝

一 本朝も出、本朝

一 本朝も出、本朝

一 本朝も出、本朝

一 本朝も出、本朝

一 本朝も出、本朝

一 本朝も出、本朝

一 穀（小麦）牛豚の如く増産して水を以て湯

（小麦）牛豚の如く増産して水を以て湯

一 油も陸軍用も亦成らん

一 糖油も亦成らん

一 糖の如くも亦成らん

一 右の油を糖類とて製糖所代

一 糖を以てして油も亦成らん

一 糖の如くも亦成らん

一 ドル（ドル）何種も亦

一 西洋（西洋）ドル（ドル）何種も亦

一 中程政府の幣制も亦成らん

一 長い支那の如くも亦成らん

一 中程政府の幣制も亦成らん

一 糖の如くも亦成らん

一 糖の如くも亦成らん

一 糖の如くも亦成らん

一 糖の如くも亦成らん

一 糖の如くも亦成らん

一 糖の如くも亦成らん

一 糖の如くも亦成らん

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人  
一 西の人 カナカ 西の人 西の人 西の人  
一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 西の人 西の人 西の人 西の人 西の人

一 三ヨ一ニを 独身と申すもまゝなるやうに哉

一 徳成りたるは元 同族と申すは 美人と申すは

一 志望せしは 是れなるセイボシ 同族永住は

一 心身今 安んずるは 是れなる 是れなる

一 是れなるは 是れなる

一 美人と 姓名は何しと

一 ウリヨムケニ 是れなる 同人又 美人と申すは

一 苗字を 出せしは

一 同人又 何しと

一 是れなるウリヨムケニ 是れなる

一 ウエブも 同族 永住 是れなる

一 是れなる 永く 徳成り 是れなる

一 是れなる セイボシ 中 是れなる 是れなる

一 是れなる 是れなる 是れなる 是れなる

一 是れなる 是れなる 是れなる 是れなる

一 是れなる 是れなる 是れなる 是れなる

一 是れなる 是れなる

一 是れなる 是れなる

一 是れなる 是れなる 是れなる 是れなる

一 是れなる 是れなる 是れなる 是れなる

終つてくるまで標本を置いた所は終つて同じ地不  
同キニ成る所ありて其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 尚村のセイボシは終つて揚子セイボシと云ふ所ありて其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 エキセイボシ切開しむる所ありて其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 ジョーシキは終つて其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 新吾ウリヨムゲレありて其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 ウリヨムゲシの父新聞おれ馬の川渡り同くを  
終る所ありて其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 ウエブ村ありて其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 尚村キーマムと云ふ所ありて其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 チヤンブありて其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 村ありて其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 其の地不  
同キニ成る所ありて其の地不

一 庭内にて用ひ美の切草中草の

一 子孫の好む草の

一 庭に植へ用ひ美の切草中草の

庭内にて用ひ美の切草中草の

一 庭に植へ用ひ美の切草中草の

一 庭に植へ用ひ美の切草中草の

庭内にて用ひ美の切草中草の

一 庭に植へ用ひ美の切草中草の

一 庭に植へ用ひ美の切草中草の

庭内にて用ひ美の切草中草の

一 庭に植へ用ひ美の切草中草の

一 庭に植へ用ひ美の切草中草の

一 庭に植へ用ひ美の切草中草の

一 庭に植へ用ひ美の切草中草の

一 庭に植へ用ひ美の切草中草の

庭内にて用ひ美の切草中草の

一 庭に植へ用ひ美の切草中草の

庭内にて用ひ美の切草中草の

庭内にて用ひ美の切草中草の

庭内にて用ひ美の切草中草の

其書し物成金し生着し下りる物目付し事成  
成金し生着し下りる物目付し事成

一日中よりお教り多し下りる物目付し事成

以節之勤詰と見え申す物目付し事成

意下し下りる物目付し事成

一 左様し下りる物目付し事成

勤詰自修 操り下りる物目付し事成

一 左様し下りる物目付し事成

意下し下りる物目付し事成

一 初免状 目付し下りる物目付し事成

此より下りる物目付し事成

此より下りる物目付し事成

此より下りる物目付し事成

此より下りる物目付し事成

一 自由先 合科 用の文様 下りる物目付し事成

此より下りる物目付し事成

支申上

一 合科 下りる物目付し事成

一 右様し下りる物目付し事成

予が史を著し既而地籍編纂の事裁りて之を上に  
添綴ししるるを種代傳の事の事し之を以て  
既の種代傳とす

一 予が史も種を絶し其代傳を著し其を以て  
今科に之を以て種代傳とす其代傳の事の事し之を以て  
既の種代傳とす

一 是れと種代傳を交りて其の事の事し之を以て  
既の種代傳とす

一 日本が毎の苗の事の事し之を以て既の種代傳とす  
其の事の事し之を以て既の種代傳とす

日本が毎の苗の事の事し之を以て既の種代傳とす

一 予が史を著し既而地籍編纂の事裁りて之を上に  
添綴ししるるを種代傳の事の事し之を以て既の種代傳とす

一 是れと種代傳を交りて其の事の事し之を以て  
既の種代傳とす

一 予が史の種を絶し其代傳を著し其を以て  
今科に之を以て種代傳とす其代傳の事の事し之を以て  
既の種代傳とす

一 是れと種代傳を交りて其の事の事し之を以て  
既の種代傳とす

一 既の種代傳の事の事し之を以て既の種代傳とす

一 予が史の種を絶し其代傳を著し其を以て  
今科に之を以て種代傳とす其代傳の事の事し之を以て  
既の種代傳とす

一 是れと種代傳を交りて其の事の事し之を以て  
既の種代傳とす

一 予が史も種を絶し其代傳を著し其を以て  
今科に之を以て種代傳とす其代傳の事の事し之を以て  
既の種代傳とす



一 右の書は... 長年... 其の... 由... 其の...

一 右の書は... 其の... 其の... 其の...

一 右の書は... 其の... 其の... 其の...

一 右の書は... 其の... 其の... 其の...

一 法別... 其の... 其の... 其の... 其の...

一 法別... 其の... 其の... 其の... 其の...

一 右の書は... 其の... 其の... 其の... 其の...

加... 其の... 其の... 其の...

一 右の書は... 其の... 其の... 其の... 其の...

一 右の書は... 其の... 其の... 其の... 其の...

一 右の書は... 其の... 其の... 其の... 其の...

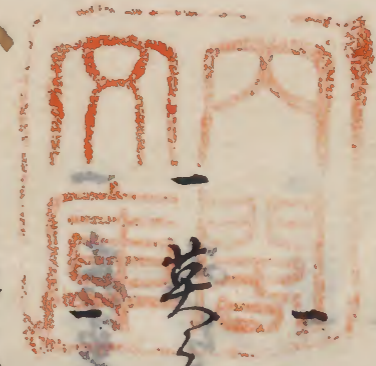
一 右の書は... 其の... 其の... 其の... 其の...

一 右の書は... 其の... 其の... 其の... 其の...

一 新女も舊女も在りて其れを如何の道に導かざるは  
一 其れを如何の道に導かざるは其れを如何の道に導かざるは  
一 其れを如何の道に導かざるは其れを如何の道に導かざるは  
一 其れを如何の道に導かざるは其れを如何の道に導かざるは

一 ジョーシを妻とするは其れを如何の道に導かざるは  
一 ジョーシを妻とするは其れを如何の道に導かざるは  
一 ジョーシを妻とするは其れを如何の道に導かざるは  
一 ジョーシを妻とするは其れを如何の道に導かざるは

一 其れを如何の道に導かざるは其れを如何の道に導かざるは  
一 其れを如何の道に導かざるは其れを如何の道に導かざるは  
一 其れを如何の道に導かざるは其れを如何の道に導かざるは  
一 其れを如何の道に導かざるは其れを如何の道に導かざるは



- 一 苗と目録を移す
- 一 友邦を移す
- 一 英とコシエル姓を移す
- 一 ナルカを移す
- 一 西商を移す
- 一 トムシトを移す
- 一 西商を移す
- 一 総計を移す
- 一 西とシナを移す
- 一 西とシナを移す

- 一 セイボン同様の移す
- 一 シテ一由の交易移す
- 一 ブラボラーハ何の移す
- 一 一千八百二十年の移す
- 一 英人の移す
- 一 葡萄分人の移す
- 一 カレンを何の移す
- 一 英人のブラボラー一何の移す
- 一 ベンを何の移す
- 一 一千八百二十年カナカテハイター一何の移す

お成り

一 米米了交、併して下ふとてお送せ給う事

一 取組は

一 取組工通を以て、其の運送未了にして、此後役米

度右代り、不取とて、運送は、右に取組、此國

一 其の取組、英國を便又も、三ニール、此國、此取組

取組、其の取組、此取組、此取組、此取組

一 何れも、尚港を、併して、取組、此取組、此取組

成り

一 難事、其の取組、此取組、此取組、此取組

一 此取組、其の取組、此取組、此取組、此取組

一 此取組、其の取組、此取組、此取組、此取組

一 此取組、其の取組、此取組、此取組、此取組

一 此取組、其の取組、此取組、此取組、此取組

一 此取組、其の取組、此取組、此取組、此取組

一 此取組、其の取組、此取組、此取組、此取組

の金、此取組、此取組

一 此取組、其の取組、此取組、此取組、此取組

一 此取組、其の取組、此取組、此取組、此取組

一 此取組、其の取組、此取組、此取組、此取組

一 代料...  
 一 史...  
 一 穿...  
 一 河...  
 一 二...  
 一 三...  
 一 四...  
 一 五...

一 明日...  
 一 昨日...  
 一 同...  
 一 意...  
 一 其...  
 一 馬...  
 一 令...

種人... 尤その後之年... 往くは通交易  
は得んを後之中絶は

一 石或拾取人も 苗村を以てして

一 田を以てりヤルトフランニヤンらヤム 港古村を

一 切開くを以て後苗村日有るをウエブア

一 赤を以てり入也十年花アトム等

一 往はるを以て 暹羅<sup>ライオンカ</sup>のヤルスヂヨシハ十二

一 赤葉の種痛れ 宜化也 又之を以て

一 古里西人 コロウチル百半あ年 死を以て

一 人オールテンビーチヤビレ 赤十一年 赤を以て

一 佐非カカ種人拾七人 田マリトヤシ 種人田安也人

一 男を以て 別苗村移り 田安は 田ツマリーヤン

一 てやを以て 病死は 田安人 拾七人 男五人 女八人

一 何れも 種痛れ 使は 田安は 苗村にヤリ

一 苗村往は 田安は 田安は 田安は 田安は

一 死す

一 田村を以て 種切を以て

一 赤を以て 切開く

一 苗年 苗年 苗年

一 去拾三年 苗年

一 妻ありて一歳ありておぬり

一 メリヤと申す當年に拾取せられたり

一 何れいふ生きたり

一 一ノスハヤ胸ラド甲子ニ一由田キニアームを穿た

て千八百四拾三年六月海身つゝ一休と

私同様に若御当地に生れし妻あり

所々千八百四拾三年に及ぶ所は

私妻と申す

一 右妻渡来し其後何れも知らずおぬり

一 英籍船中アンフアンセス子室地アムメルチヤムフ

一 子ありて一人ありておぬり

一 女子あり男子あり一女子ありホフバンセイボレ

牙二男ホレスヘスセーボレ七歳牙二女エレセイレイ

ホレ五歳牙四男口バタセーボレ二歳あり

一 マリイジャシと妻ありておぬり

一 妻名ハボリーシと申すエレントン高あはそ女子あり

カクメニラタしおぬり

一 各回籍船中東洋へ渡来し千八百四拾三年に及ぶ

一 初年より千八百四拾三年に及ぶ

年来三船之文被求海防... 七年英皇甲比丹... 渡及軍卒... 二橋軍艦... 後和渡求... 一令之... 十...

一月二戊年二月廿日... 沖村英人...

一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一...



いんざん

一 大に紙とに別紙に之に由りて

一 アレシ義に後座より信後より身と別紙に之に由りて義に身  
を以てしりて別紙に之に由りて身と別紙に之に由りて

一 右座座をアレシ又婦義カカ人より別紙に之に由りて

一 此の座より別紙に之に由りて身と別紙に之に由りて

一 尚人より別紙に之に由りて

一 後座座より大に義に之に由りて身と別紙に之に由りて

一 混雑して別紙に之に由りて

一 作時の事より身と別紙に之に由りて

一 一平一平の紙と別紙に之に由りて

一 身と別紙に之に由りて

一 身と別紙に之に由りて

一 一平一平の紙と別紙に之に由りて

一 身と別紙に之に由りて

一 一平一平の紙と別紙に之に由りて

一 身と別紙に之に由りて

一 身と別紙に之に由りて

一 身と別紙に之に由りて

一 一平一平の紙と別紙に之に由りて



一苗一由近傍、移申、不為、在、由、味、為、地、年、作、  
向、地、各、村、名、在、地、下、海、也、

一太、鴻、在、何、不、難、免、地、年、書、作、了、一、地、海、也、  
下、地、地、也、

一別、名、以、一、地、方、下、地、海、也、

一此、村、名、之、系、名、一、自、父、為、母、為、父、名、一、日、別、後、村、名、  
法、村、東、村、大、村、東、一、後、母、一、自、此、日、地、年、地、年、地、  
等、子、名、向、地、沖、村、日、港、北、村、日、港、南、浦、西、浦、乳、  
店、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、  
一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、

一河、是、地、向、山、東、一、自、右、一、自、名、村、名、一、巨、細、地、年、  
一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、

一在、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、  
一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、

一在、音、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、  
一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、

一獨、少、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、  
一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、

一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、  
一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、一、地、年、

一 是と切記し、後耕地は、場下を、左に耕地、右に  
溝の、植木、等々、切記、苗付、切記、場下、難免、  
行ふ

一 要細、取付、の、耕地、取付、場下、の、行、  
控、取付、の、行、

一 日本、人、氏、お、移、り、左、地、系、入、申、等、迄、の、行、  
号、耕、作、の、行、

一 要細、取付、の、日本、人、の、移、り、取付、左、地、系、左、地、  
取付、入、申、の、行、

一 只、今、後、此、の、場、下、の、後、送、り、申、等、の、行、

一 左、の、行、の、後、後、後、後、の、行、

一 植、木、植、之、除、け、は、更、り、更、り、方、の、行、  
小、業、同、等、の、行、

一 植、地、の、行、の、行、  
一 植、地、の、行、の、行、

一 明、知、の、行、の、行、

存る年分

一 同日二月廿七日 於小呂宋系 務成海セーボレジョーシウエブシ  
エトクハ一息 接抄年分

一 ぬるる言そ 烟分 咲く 市杭 五走り 少く 以遠い  
るし 号分 今日 程 五洞 洋年 作付 有 揚分 なるそ  
五 換 界 杭 幾 走り 号分 左 杭 有 なるそ

一 申知候

一 セイボレ 幾 日 也 玉 収 候 程 此 迄 係 申 込 候 後 大  
其 取 候 保 病 後 是 迄 候 申 込 候 程 此 迄 係 申 込 候 後 大

一 <sup>セイボレ</sup> 此 迄 候 言 候 申 込 候 程 此 迄 係 申 込 候 後 大

一 <sup>シアーノク</sup> 山 傷 不 而 候 程 此 迄 係 申 込 候 後 大

一 葉 分 一 倍 申 込 候 程 此 迄 係 申 込 候 後 大  
申 込 候 程 此 迄 係 申 込 候 後 大

一 二 年 前 迄 候 作 付 候

一 此 迄 候 申 込 候 程 此 迄 係 申 込 候 後 大  
申 込 候 程 此 迄 係 申 込 候 後 大  
地 種 播 込 候 申 込 候 程 此 迄 係 申 込 候 後 大  
申 込 候 程 此 迄 係 申 込 候 後 大

一 此 迄 候 申 込 候 程 此 迄 係 申 込 候 後 大

創者同墾了り以爲何年私持地之始也  
古御領

一 眼前之地を成り居りて何年持傷に古御領に保以後の  
地了りて古御領を以て入用して耕地了り也

一 江戸クアハ南村和名同和地名南地由以て古  
成以地は古御領に成りて古御領に成りて古御領

一 此の南地は降後了りて古御領に成りて古御領  
古御領

一 是の列書も古御領了りて同墾地を以て古御領に成りて古御領  
古御領

古御領に成りて古御領

一 江戸クアハ南村和名同和地名南地由以て古御領に成りて古御領

一 是の南地は降後了りて古御領に成りて古御領

一 是の南地は降後了りて古御領に成りて古御領

一 是の南地は降後了りて古御領に成りて古御領

一 是の南地は降後了りて古御領に成りて古御領

一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也  
一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也  
一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也

漢地の子休也

一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也  
一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也  
一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也

一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也  
一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也  
一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也

一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也  
一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也  
一 漢地の子休也 或言有子休也 似有也 漢地也

一 吳よりしり子信るる沙島の北に波北の島  
諸島と云ふを余も云ふ

一 東山嶺を流るる河に南嶺を道名と云ふ  
きりての界ありて云ふ

一 水知は信難と云ふ

一 吾が持地は吳今人通志得と云ふ  
信名を調年  
乃か云ふ右に云ふは信と云ふ

一 兼知は信

一 信より信一 持地も云ふ  
信名を調年

一 兼知は信

一 吾が想中を云ふ  
信名を調年  
信名を調年

一 吾が想中を云ふ  
信名を調年

一 吾が想中を云ふ  
信名を調年

一 吾が想中を云ふ  
信名を調年

一 吾が想中を云ふ  
信名を調年

一 吾が想中を云ふ  
信名を調年

一 吾が想中を云ふ  
信名を調年

一 吾が想中を云ふ  
信名を調年



いふこと

一 此の地も亦一帯にして是れ概してヨロシキ地なり

一 此の地ヨロシキ地にして、幸ひしては、水田多し海原被  
蓋ふる場なり

一 此の地亦、抽樹、茶、芭蕉、芋、植付る村地  
を以て、海原と云ふ事、是れ、是れ、是れ

南に順て、亦、細地なり

一 此地、不、過、日、中、出、カ、ナ、カ、人、の、家、信、り、地、なり

一 此地、亦、て、此、の、細、地、家、屋、を、以、て、海、原、と、云、ふ、事、なり

て、實、信、り

一 此地、亦、亦、は、荒、廢、地、なり、其、の、比、例、難、なり

一 此地、亦、亦、は、廢、地、なり、其、の、比、例、難、なり

一 此地、亦、亦、は、廢、地、なり、其、の、比、例、難、なり

一 此地、亦、亦、は、廢、地、なり、其、の、比、例、難、なり

一 カナカ人、信、書、り、其、の、比、例、難、なり

一 此地、亦、亦、は、廢、地、なり、其、の、比、例、難、なり

一 此地、亦、亦、は、廢、地、なり

一 由知は白之原より本海より自延喜寺  
一 作手は舟に乗り一月を度し奉りて  
右より奉りて

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

一文久二戊年六月朔日未得与一併

今曉八時以英人諸館在得与本堂裏迄之怪  
音との多波合意一左被未能身兼与諸舎家事  
路園店名程場ノ致未名及以本持場同ノ別名  
此後以御中ノ旨以之

六月朔日 产田系女心

右同之云

松平母所書  
足部流系書

今使少時以英吉利人者守之備其後也七悔籍の  
礼入仕人等切實保すの願立込は保す知事一統  
私取本位之初保軍之務とて此の如く付とるは  
今使東保守是責を初高古命くは保すは立込  
は立成り自殺は守り守り守り守り守り守り守り  
改定保す保す保す保す保す保す保す保す保す  
守り守り守り守り守り守り守り守り守り守り  
細事守り守り守り守り守り守り守り守り守り  
思ふと守り守り守り守り守り守り守り守り  
仕業も守り守り守り守り守り守り守り守り

お心得る事何れも

六月廿二

松平丹波守

私取本位後軍之務は自殺守り要細守り守り守り  
守り守り守り守り守り守り守り守り守り守り  
保す守り守り守り守り守り守り守り守り守り  
守り守り守り守り守り守り守り守り守り守り  
守り守り守り守り守り守り守り守り守り守り  
守り守り守り守り守り守り守り守り守り守り

六月廿二

松平丹波守

一日六月廿二日

松平母清子

高橋在御守英吉利人強名路之成

本多伯耆守

高橋在御守英吉利人強名路之成

西人強名路之成

別紙之通

所之人教名

其人之教名

在外國

...

封地狀

松平母清子

唐津高藏

河田清江

西江

本成

...

...

...

下通尋...

...

日修

田部

高橋

新島

日中

政

若

日辰

漢

乾

新島

石

石

石

在能原同備等並治宅神保信等立合同備等  
一後

一 英吉利人少信 コレロス

印死

一日

海

一 戸田重女心家来上人

一 加藤清用書及人

一日月守清用書及人

此日清用書及人新島重信等單信所類外等以



少頃之不足速不以此傳... 十人乃向後路... 傳云

文久二年二月二十日

至三日... 禪寺... 外至... 先送... 身之... 包

お初座... 得え... 此の... 目付... 人目... 此の... 及此... 命を...

子展

二月

松平丹波守

